

# 学校 だより



横浜市立岡津中学校  
学校だより 2015  
第2号 2016年2月22日  
体育祭・文化祭特集号  
Yokohama city Okazu J.H.S school letter

## 『見せてくれた岡中生の団結力！』 美

副校長 山岸和

生徒のみなさんが楽しみにしている最大の行事である体育祭・文化祭の2大イベント。笑いあり、涙あり、それぞれのクラスが底力を存分に発揮しました。

体育祭では、個人種目での最後まで走りこんでいるみなさんの勇姿が素晴らしかったです。それにも増して、やはり一人ひとりの力が結集する団体種目、学年種目や大縄跳びは、見ている者を感動させます。

皆さんのすてきな笑顔をたくさん見ることができて最高の日でした。

文化祭では、趣向を凝らした展示や演示がありました。準備期間が長く、それぞれ分担された仕事を責任をもってこなしていかなければ、仕上がりにせん。おそらく計画段階から完成までにはいろいろなドラマがあったことでしょう。

それぞれの行事は、みなさんが主役ですが、それを企画運営してくれている実行委員会や支えてくれている人たちがいることを忘れてはいけません。尽力いただいた全ての方々に心から感謝したいと思います。ありがとうございます。

またこの2つの行事を通して学んだこと、つまり仲間との関わりはいま生きていますか？ みんなで目標に向かって突き進み、一つのことを成し遂げる。かけがえのないひとときです。

「さすがだね、岡中生。」この言葉をいつもききたい。

(リアルタイムで岡津中学校のホームページに詳しい情報が載っていますのでこちらもご覧ください。)

### 思い出アルバム

体育祭



飛躍祭



## 『986人のヤル気と100%の努力』 子

体育祭実行委員長 佐藤由紀

今年の体育祭は、天候の影響で2度も順延するという事態になりましたが、体育祭実行委員はじめ、各委員会では、当日に向けてしっかりと準備することができました。そしていよいよ迎えた本番では天気にも恵まれ、目を輝かせながら開会式に臨む選手たちの姿はとても印象的でした。

今年度はサバイバルレースの代わりに入ったハードル種目に注目が集まりました。各学年ともに体育の授業で練習してきた成果を出し、全力疾走で駆け抜けることができました。特に体の大きな3年生は、まるで走っているようにハードルをまたいでいる選手もいました。とても盛り上がった種目でもあったので、来年度も継続していきたいと思います。

今年度は学年対抗形式で行われたため、他学年に対しての応援が盛り上がるのかどうか心配でしたが、それぞれに部活の先輩・後輩を全力で応援しており大変盛り上がりました。しかし、観戦マナーについては課題が残る部分もあり来年度の反省にしていかなければいけません。

来年度も、今年に負けたくないくらい良い体育祭にしましょう(\*^-^\*)

## 『BUBBLE～弾ける音と千の輝き～』

文化祭実行委員長 寺野完

今年の飛躍祭は『BUBBLE～弾ける音と千の輝き～』というテーマで開催させていただきました。テーマには、「一瞬で儂いものであるが、美しくみんなの思い出に残したい。そして、様々な音を奏で、輝きたい。」という思いを込めて決定しました。体育祭と飛躍祭という2つのビッグイベントの中で、生徒たちのひたむきな姿、仲間と協力し合う姿が様々な場面で見られ、まさに一人ひとりが美しく輝いていたことが、大変嬉しく思います。

実行委員会では、委員長の土田さんをはじめ、全ての実行委員の生徒が、より良い飛躍祭を運営していくため、熱い思いを持って積極的に活動することができました。開祭式、閉祭式でも画期的なアイデアを練り、飛躍祭を盛り上げました。

保護者の方々にもたくさん来ていただき、とても暖かい雰囲気の中飛躍祭になったことに感謝申し上げます。来年度の飛躍祭も、今年度には負けられない素晴らしいものになると願っています。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。